

平成25年3月期

決算説明資料

名古屋鉄道株式会社

2013年5月9日

連結損益計算書

連結子会社数 : 130社 (増加1社)
(減少6社)

持分法適用会社数 : 16社 (増加1社)

豊鉄環境アシスト (新設)
名鉄トラック運送 (清算終了) 名鉄蒲郡タクシー (被合併) 道東観光開発 (株式譲渡)
網走ハイヤー (株式譲渡) 網走バス (株式譲渡) 武田名鉄交通 (株式譲渡)
栄開発 (株式取得)

() は増減率

(単位: 百万円、%)

	24年度	23年度	増減	(対前期)	直近見込	増減率
営業収益	609,836	603,790	6,045 (1.0)	不動産+5,400 流通+2,366 その他+366 交通+46 運送△849 レジャー・サービス△1,295	603,000	1.1
営業費用	577,508	575,048	2,459		573,500	
営業利益	32,327	28,741	3,586 (12.5)	交通+1,982 流通+1,371 レジャー・サービス+774 その他+132 不動産△250 運送△615	29,500	9.6
経常利益	28,814	24,615	4,198 (17.1)	営業外収益△555 営業外費用△1,167	25,400	13.4
特別利益	7,407	5,122	2,284	工事負担金等受入額+3,258 負ののれんの発生益△1,502	6,500	
特別損失	16,160	12,898	3,262	工事負担金等圧縮額+3,029	11,000	
当期純利益	12,726	11,000	1,726 (15.7)		12,000	6.1

営業収益は、不動産事業での土地販売や新規賃貸ビルの増加に加え、流通事業での輸入車販売増加により増収。

営業利益は、諸経費の削減に加え、減価償却費の減少により増益。

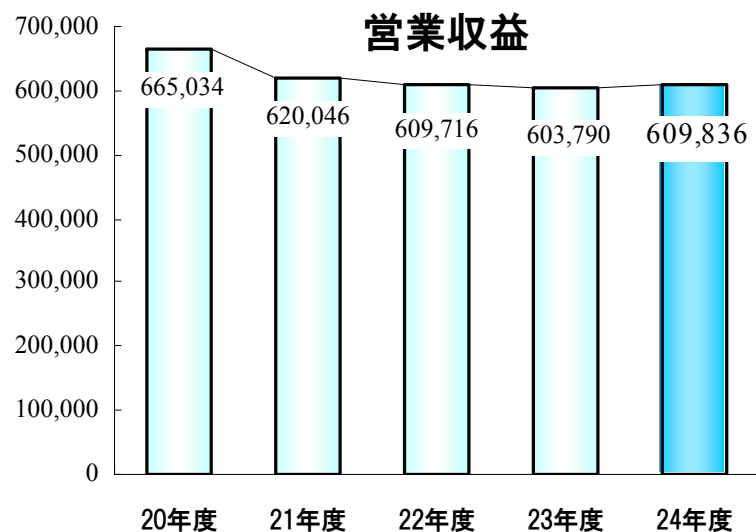
経常利益は、営業増益に加え、支払利息の減少による営業外損益の改善もあり増益。

当期純利益は、負ののれんの発生益が減少したことなどにより特別損益が悪化したが、増益。

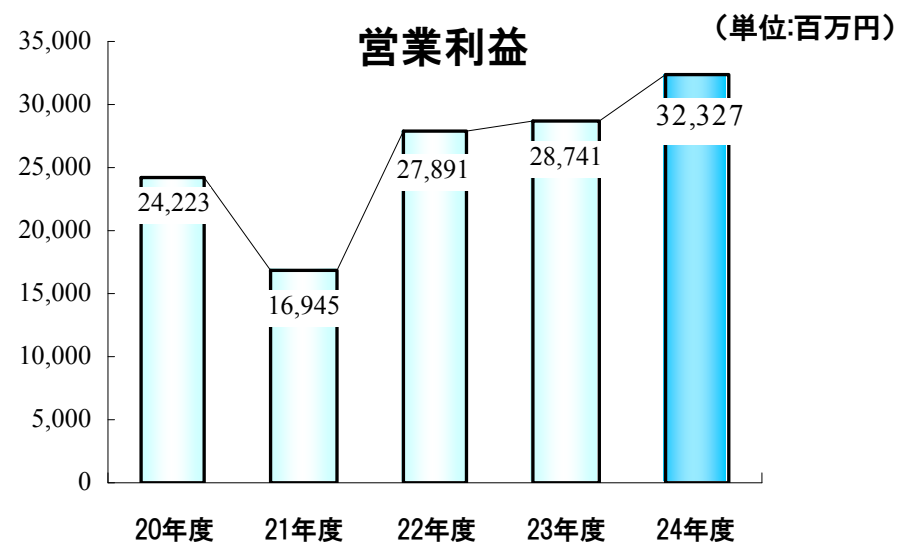


名古屋鉄道

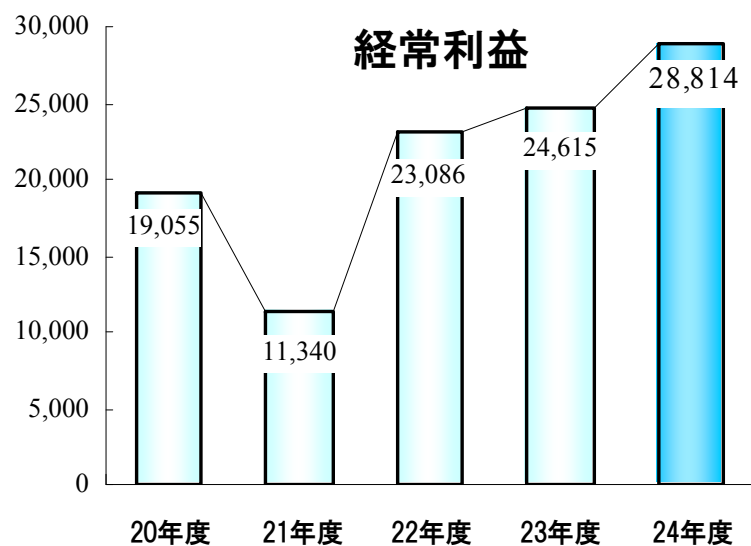
連結業績の推移



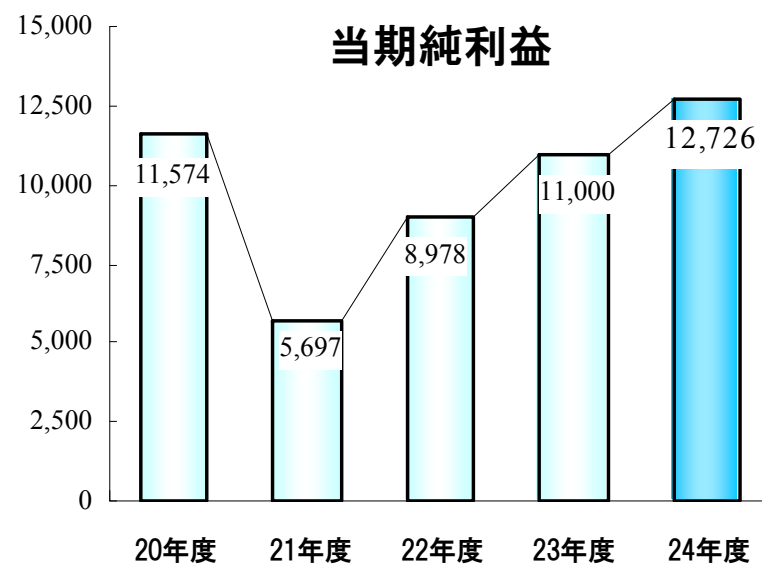
5期ぶり増収



3期連続増益



3期連続増益



3期連続増益



名古屋鉄道

セグメント別営業成績

(単位：百万円、%)

営業収益	24年度	23年度	増減額	増減率	コメント
交通事業	156,874	156,828	46	0.0	一部子会社譲渡による減収があったものの、鉄軌道輸送人員増加により、全体ではわずかに増収
運送事業	133,677	134,527	△ 849	△ 0.6	トラック事業で一部子会社清算や店舗閉鎖により減収
不動産事業	93,320	87,919	5,400	6.1	分譲土地の一括販売に加え、新規賃貸ビルや駐車場数の増加による増収
レジャー・サービス事業	53,796	55,092	△ 1,295	△ 2.4	旅行業で取扱旅客数が増加したものの、ホテル観光施設で一部子会社譲渡などにより減収
流通事業	142,483	140,116	2,366	1.7	輸入車販売において新車販売が好調に推移し増収
その他の事業	71,899	71,533	366	0.5	設備工事の受注が好調により増収
調整額	△ 42,216	△ 42,227	10	—	
合計	609,836	603,790	6,045	1.0	

営業利益	24年度	23年度	増減額	増減率	コメント
交通事業	14,098	12,115	1,982	16.4	減価償却費等の減少により増益
運送事業	3,628	4,244	△ 615	△ 14.5	燃料費が減少した一方、業務委託料等が増加し減益
不動産事業	8,697	8,947	△ 250	△ 2.8	当社分譲利益の減少に加え、賃貸ビルの耐用年数見直しによる減価償却費の増加により減益
レジャー・サービス事業	1,086	312	774	247.4	諸経費削減に努め増益
流通事業	1,542	171	1,371	798.6	諸経費削減に努め増益
その他の事業	2,794	2,662	132	5.0	設備工事における利益率の向上により増益
調整額	479	286	192	—	
合計	32,327	28,741	3,586	12.5	

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	24年度	23年度	増減額	コメント
流動資産	163,674	177,402	△ 13,728	販売により「分譲土地建物」が減少
固定資産	939,301	955,295	△ 15,993	
有形固定資産	820,994	840,074	△ 19,079	
無形固定資産	11,902	12,269	△ 367	
投資その他の資産	106,404	102,951	3,452	保有上場株式の時価上昇により「投資有価証券」が増加
資産合計	1,102,975	1,132,697	△ 29,722	
流動負債	323,689	395,957	△ 72,267	借入金の返済により「有利子負債」が減少
固定負債	543,695	516,493	27,201	
負債合計	867,385	912,450	△ 45,065	
純資産合計	235,589	220,246	15,343	当期純利益+12,726 剰余金の配当△1,758 その他有価証券評価差額金+2,073 等
負債純資産合計	1,102,975	1,132,697	△ 29,722	
連結有利子負債合計	578,557	620,273	△ 41,716	

個別業績

◆個別損益計算書◆

() は増減率

(単位：百万円、%)

	24年度	23年度	増減	(対前期)	直近見込	増減率
営業収益	99,790	98,147	1,642 (1.7)	鉄軌道事業 +1,083 開発事業 +558	99,300	0.5
営業費用	87,246	85,504	1,742	分譲土地評価損 +2,293 減価償却費 △677 など		
営業利益	12,543	12,642	△ 99 (△0.8)		13,100	△ 4.3
経常利益	12,415	10,409	2,005 (19.3)	営業外収益 +1,557 営業外費用 △547	11,000	12.9
特別利益	5,129	3,153	1,976	工事負担金等受入額 +3,303 など		
特別損失	11,563	10,281	1,281	工事負担金等圧縮額 +3,117 など		
当期純利益	6,037	4,150	1,886 (45.4)		4,600	31.2

◆名鉄 運輸成績◆

(単位：百万円、%)

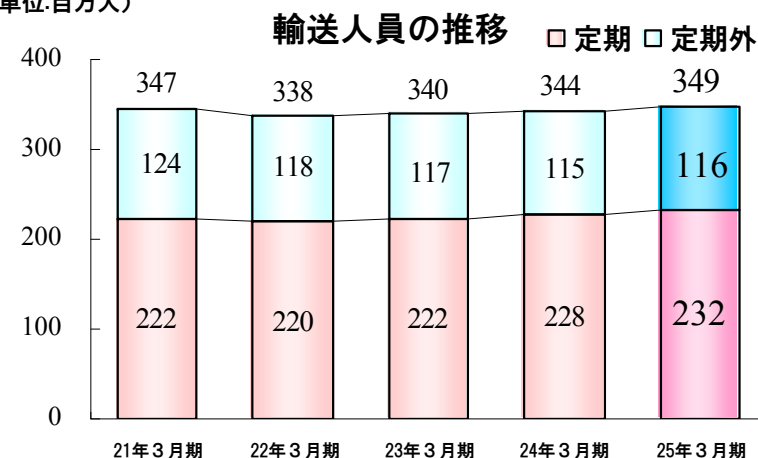
旅客収入	24年度	23年度	増減率
定期外	44,954	44,329	1.4
定期	35,074	34,597	1.4
計	80,029	78,927	1.4

(単位：千人、%)

輸送人員	24年度	23年度	増減率
定期外	116,393	115,741	0.6
定期	232,772	228,641	1.8
計	349,165	344,382	1.4

(注)定期外旅客収入には特別車両料金を含む。

(単位:百万人)



名古屋鉄道

平成26年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	25年度予想	24年度	増減額	コメント
営業収益	610,000	609,836	164	流通+2,417 レジャー・サービス+1,904 その他+1,501 運送+323 交通△774 不動産△5,020
営業利益	29,100	32,327	△ 3,227	レジャー・サービス+414 流通△42 運送△128 その他△294 不動産△297 交通△3,498
経常利益	26,500	28,814	△ 2,314	営業外損益は改善するものの減益
当期純利益	14,500	12,726	1,774	減損損失の減少等により増益
設備投資額	36,000	35,289	711	【設備投資額】 交通事業で車両更新が減少 運送事業で車両更新が増加
減価償却費	39,000	39,448	△ 448	
有利子負債	561,000	578,557	△ 17,557	

平成26年3月期 個別業績予想

(単位：百万円)

	25年度予想	24年度	増減額	コメント
営業収益	100,700	99,790	909	鉄軌道事業 増収 開発事業 増収
営業利益	11,400	12,543	△ 1,143	鉄道高架化工事の精算に伴う固定資産除却費、電力料等の営業費増加により減益
経常利益	12,000	12,415	△ 415	支払利息の減少等により、営業外損益は改善
当期純利益	8,000	6,037	1,962	特別損益の改善等により増益

◆1株当たり配当金◆

(単位：円)

	26年3月期 (予想)	25年3月期
中間	0.00	0.00
期末	4.00	3.00
年間	4.00	3.00

連結経営指標

	23年度	24年度	25年度予想	26年度 中計目標
ROE（純利益/自己資本）	5.7%	6.0%	6.7%	6.5%
ROA（営業利益/総資産）	2.5%	2.9%	2.6%	3.0%
有利子負債/ EBITDA（※）倍率	8.9倍	8.1倍	8.2倍	8.0倍
DOE（配当総額/自己資本）	0.9%	1.3%	1.6%	2.0%

※EBITDA：営業利益＋減価償却費



業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承下さい。